



嘉
75

初去之候氣化

不定於處先以

海而清勝幸賀

述之過可身了并

中其の法多、字四

五只前より感耳

之程思初白生



五日高より威あり日

之は難し思ふ初め生ま

書き後の院に出で路を

変へ丁に頭を納め

者は困る方に必ず

昨の日は傳へ承り候に

奥の様に流し行は

威を會ひ候に思ふ

由は此の順に候に

付はり候に

加へては候に

書き送り申上り候

事は候に

子幼時已能書

每與之共學

先以寸楷之呈

有也

二月廿六日

直林

大隈兄 謹啟

為

國

心

一